

令和7年度研究推進計画

学校名 東広島市立向陽中学校

学校長名 河中 弘子

1 研究主題、研究内容・方法等について

研究主題	論理的思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫 ～対話的な活動を通して、お互いに学び合い高め合う～
主題設定の理由	<p>本校では、一昨年度から「論理的思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫」を研究主題に掲げ、話し合い活動を通して、生徒の表現力を高めるために研究をしている。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編では、育成すべき資質・能力の3つの柱として、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」を涵養することが示され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。</p> <p>一昨年度より、生徒が思考力・判断力・表現力を高めるために、「どのように学ぶか」を意識し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、対話的な学習活動を授業に取り入れることを意識した。そのなかで、多くの生徒は、「多様な意見に触れて考えを深められている」と感じてはいるものの、自分の意見や考えを客観的な根拠に基づき論理的に説明したり、深めたりするまでには至っていなかった。</p> <p>このことから、話し合い活動を取り入れることは継続しながらも、昨年度より意見交流の質を高めるため、また、根拠に基づいた論理的な思考を促すため、「三角ロジック」や「対話型論証」を取り入れた授業づくりを行っている。タブレットを効果的に活用しながら、今年度も継続して研究、深化させていきたい。</p>
研究仮説	授業づくりにおいて、対話的な学習活動を取り入れることによって、生徒の主体的な学びにつながり、思考力・判断力・表現力が高めることができるであろう。
研究内容	○対話的な学習活動を取り入れた授業実践とその改善 （「三角ロジック」「対話型論証」を取り入れた、生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業づくりの工夫）
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> * 全国学力・学習状況調査（客観的な技能・知識レベルの読み取り） * ワークシート、読み取るためのテスト等 * 生徒質問紙（主観的な意識レベルの読み取り） * 教職員に対する質問紙（主観的な意識レベルの読み取り）

2 検証計画

検証方法	達成目標値	検証時期	担当
全国学力・学習状況調査	・市平均正答率比各教科 1.00 以上	8月	教科等部会
生徒質問	・対話的な学習に関する項目の肯定的回答が6月の調査より増加する。	6月 12月	教育研究推進委員会
教職員に対する質問紙	・対話的な学習に関する項目の肯定的回答が初回の調査より増加する。	随時	教育研究推進委員会

3 校内研修計画

月	日曜	研 修 内 容	
4	30 (水)	校内研修会①	<ul style="list-style-type: none"> ■本校における教育実践（授業・総合的な学習の時間、授業規律） ■今年度の校内研究について～研究大会に向けて～ （主題・副題・研究授業の目当て・内容・日程等確認） 言葉の定義を明確にする。 （「対話的」「論証」「論理的思考力・判断力」「表現力」とは） ■「三角ロジック」「対話型論証」の理論研修
6	18 (水)	校内研修会②	<ul style="list-style-type: none"> ■モデル授業研究 （話し合い活動、三角ロジック・ICTの活用など） ■モデル授業研究結果交流 ■授業実践取組交流 （研究主題に沿った取組—自己評価、授業評価）
7	16 (水)	校内研修会③ <u>校内授業研究</u> （6月：横澤） （7月：黒谷教諭）	
8	4 (月)	校内研修会④	<ul style="list-style-type: none"> ■研究大会紀要作成 ■研究大会公開授業指導案第1次提出 ■生徒指導研修 ■服務規律 ■情報教育 ■作品掲示計画確認
9	3 (水)	校内研修会⑤	■前期の課題と成果
10	15 (水)	校内研修会⑥	<ul style="list-style-type: none"> ■学力調査問題の分析 （成果と課題や生徒につけるべき力の教科間の共有）
11	25 (火)	市研究大会開催	
12	17 (水)	校内研修会⑦	<ul style="list-style-type: none"> ■服務規律 ■研究の検証
1	5 (月)	校内研修会⑧	<ul style="list-style-type: none"> ■本年度の取組の成果と課題、改善点の確認 ■総合的な学習の時間の成果と課題の交流
2	18 (水)	校内研修会⑨	■今年度のまとめ、来年度の研究に向けて